



エスコープ大阪機関紙

C o n t e n t s

表紙

・関西で10万人の仲間をつくらう

P3

・活動報告 南王陽堂農園生産者訪問／
(株)ジャパンビューティプロダクツ生産
者交流会／ウインターコンサート
・組合員紹介 ・職員紹介

P2

・おおぜいの私とローカルSDGsをつく
ろう！

P4

・次世代生産者紹介「京都府漁業協同組合」
・理事会報告
・おたよりネット ・編集後記

関西で10万人の 仲間をつくらう

「生活クラブ生活協同組合都市生活」(以下、都市生活)とは、「生活クラブ連合会」に加入する以前、「生協連合会きらり」をつくって、政策・共同購入事業のしくみを統一し、運動も一緒にすすめていました。きらり創設当時(2002年11月)の組合員数は、エスコープ大阪約23,450名、「都市生活」8,118名でした。両生協とも2010年に生活クラブ連合会に加入しましたが、それは関西圏で10万人の仲間をつくることで自立した生産と消費の関係を立て直し、運動・事業をすすめていくためでした。それから20年ほど経ち、エスコープ大阪の組合員数は約18,700名となっています。今回は、「都市生活」理事長の小谷里香さんと仲間づくりについて対談しました。

(聞き手:理事長 吉田 正美)



生活クラブ生活協同組合都市生活(兵庫県西宮市)
理事長
小谷 里香さん
左は吉田 正美さん

組合員がまわりに伝え 広がる

吉田 気候危機、少子高齢化、労働人口の減少など、さまざまな課題が私たちの周りにあふれています。この課題を解決するには、一人ひとりの努力も大切ですが、おおぜいの仲間で力を合わせることが必要です。

エスコープ大阪の地域委員会活動では、ここ数年仲間づくり活動を積極的に取り組むことができていませんでしたが、私たちが描いた未来を実現するために、2024年度は取り組んでいくことを決定しました。

小谷 「都市生活」でも、持続可能な社会を実現するためには仲間づくりが必要と考えています。組合員へ生協祭や支部のイベントにゲスト(組合員でないお友達)を連れての参加を呼びかけたり、他団体とイベントをコラボしたりして、ゲストに出会う機会をたくさん作るようにしています。スタッフ登録

した組合員と職員が一緒に地元イベントに出展したり、「ポスティング隊」をつくって組合員が自分の家の近くに加入案内チラシを配るなど、取り組みの選択肢をたくさん用意して、組合員の仲間づくり活動をすすめています。一人で食べられる量は限られます。おおぜいの組合員で食べていくようにしないといけません。

吉田 お友達と一緒に企画参加が難しいければ、まずチラシを渡すとか、地元のイベントの出展ブースと一緒に出かけるとか、いろいろなおさそいの方法がありますね。私たちの生協の自慢は食材だけでなく、「エコロ制度」などのたすけあいの仕組みや「生活クラブでんき」もあります。すべてが組合員が作り出した自慢の消費材です。ぜひたくさんの人に知ってもらい、仲間になってもらいたいです。

おおぜいの私が描いた 未来を実現する

吉田 関西6生協では、滋賀県竜王町で「JAグリーン近江」と関西6生協の食料基地づくり(関西圏の主産地形成づくり)をすすめています。現在、『竜おうみ米』を主軸とし、もち米や「(株)豆伍心」の豆腐の原料の大豆の栽培をおこなって

います。エネルギーやケアも自給するローカルSDGsの実現に向けての取り組みも検討しています。

小谷 自分たちが食べたいものを食べていくには食べる力の結集が必要で。より良い社会を築くために意見を言うのも数の力が必要です。食べる人がいないと生産者が生産を継続できないし、消費材として取り扱うことができません。望んでも消費材を食べていくことができなくなってしまう。

「都市生活」ではビギナーズカフェや食育活動などを通して、仲間づくりとあわせて加入後のフォローもおこなっています。

関西のまとまりを作ること、関西の食文化を残していきたいと思えます。今ある関西独自の消費材や生産者との関係も持続させ、新たに以前から声があがっているミールキット等、独自の消費材開発もしていきたいですね。

吉田 現在、堺市南区に新しいDC(配送センター)を建築中です。新しい仲間を受け入れる準備はできています。私たちが描いた未来を実現するためには、ますます多くの仲間で結集していかないとけません。今はまだ関西の組合員は約6万人です。お互いががんばって仲間を増やしていきたいでしょう。

おおぜいの私と ローカルSDGsを つくろう！

私たちはこれまで、食や環境、生きることの不安などに対して、社会に課題提起をしながら自分たちで解決の方法を考え、おおぜいの仲間と取り組んできました。しかし、気候危機やコロナ禍、ロシアによるウクライナ侵攻など次々と問題が勃発し、私たちを取り巻く社会は厳しい状態が続いています。今、私たちが求めるサステナブル(持続可能)な社会へといっそう大きく舵を切っていかなければなりません。そのためには同じ思いを持ったおおぜいの仲間の力が必要です。

私たちが つくりたい社会

私たちはこれまで、自分たちが求めるサステナブルな社会をめざし、食や環境、エネルギー、たすけあいなどの多様な取り組みをすすめてきました。私たちが何を選択し、どのように行動するかは次の世代へとつながっていきます。

多くの消費者は、「不要な食品添加物を使用したものは食べたくない」と考えています。しかし、市場の食品の大半は生産の効率化などのため、多くの食品添加物を使用しています。「不要なもの使用しない」「使用したものはすべて公開する」が生活クラブの原則です。日本で使用が認められている食品添加物は、天然香料、一般飲食物を除くと822品目ありますが、生活クラブでは93品目まで削減しています(2023年3月末現在)。それは、おおぜいの組合員が消費材を利用(利用結集)しているからできるので。組合員が消費材を利用することにより、生産者の暮らしが成り立ち、それが私たちの消費の安定につながります。この取り組みを

拡げていくことで、私たちがつくりたい社会に変えていくことができます。しかし、1世帯で消費できる量には限りがあります。

<エスコープ大阪組合員数の動向>

年度 人数	(名)					
	2019	2020	2021	2022	2023	2024 目標
加入	1,340	1,490	1,201	1,450	989	1,500
脱退	1,270	1,392	1,387	1,449	1,319	1,250
純増	70	98	-186	1	-330	250
期末	19,426	18,855	18,953	18,768	18,440	18,690

共感する仲間を 増やす

2023年度は組合員活動として仲間づくりがすすみませんでした。エスコープ大阪は、共同購入を通じて食・環境・福祉コミュニティの課題解決をすすめています。活動の基本は、仲間づくり(拡大)と利用おすす(利用推進)です。

私たちが望む社会を築き、次の世代に引き継ぐためには、生活クラブ関西6生協(エスコープ大阪、生活クラブ大阪、生活クラブ京都エル・コープ、生活クラブ奈良、生活クラブ滋賀、生活クラブ都市生活)で10万人(エスコープ大阪で2万5千〜3万人)の食べる力を結集させる必要があります。そのためのステップとしてエスコープ大阪第7次中期計画(2024〜2028年度)においては、エスコープ大阪の組合員数2万人をめざします。2024年度は年間1千500名の仲間づくりを目標に動いていきます。

まだエスコープ大阪に加入していないお友だちを誘って地域委員会の企画に参加してください。一緒に仲間づくりをすすめる、社会を変えていきましょう。

春のおさそいキャンペーン実施中 (6/21まで)

エスコープ大阪の 仲間を 増やそう！

- ①地域の企画にお友だちと参加する
お友だち加入で1,000ポイント付与
- ②紹介カードを提出する
紹介カード提出で500ポイント
+お友だち加入で1,000ポイント付与
- ③組合員お届けサンプルをお友だちに渡す
お友だち加入で1,000ポイント付与

※①企画予定は各地域委員会が発行している地域ニュースをご覧ください。
※②③は「春のおさそいキャンペーン」中(25週6/21まで)の特典です。
※特典はエスコープ大阪の配送エリアにお住まいの方の紹介に限ります。



泉北ニュータウン地域
(有)王隠堂農園
生産者訪問

2月23日(金)
王隠堂農園(奈良県五條市)

泉北ニュータウン地域理事
前田 美佐代



「ものづくり」への探求心、
おいしただけじゃなかった!!

申し込みが多く抽選をして20名の組合員と訪問しました。出発の朝は気温が低くあいにくの小雨でした。

途中休憩を取りながら加工事業センターに到着、事務所で梅干し製造工程の説明と動画を視聴しました。創業者の王隠堂誠海さんから、泉北生協(現エスコープ大阪)との出会いや産地の人口の減少と生産者の高齢化を危惧されている話を聞きました。(有)王

隠堂農園では改善策として、作業負担を軽減するロボットを活用したり、トレヤやネット環境を整備し労働環境を改善して新規就農者や若年層女性に呼び込みをしているそうです。

職員の方からは、近年の気候危機により奈良県産の梅の収穫量が年々減少していることを踏まえ、1997年に三重県御浜町に梅畑を開園され、現

在では15ヘクタールの圃場に広がり、栽培された梅は消費材の梅干しとなっていることを聞きました。

加工場では、梅の漬け場と干し場を見学しました。漬け場には、大きな漬け込み槽が24槽もあって、清々しい梅の香りが空気に漂っていました。当日は雨のため、梅を広げたセイロが屋内にいくつも並んでいました。梅の乾燥を均等にするためには、一つひとつセイロを持って梅を傷つけないように転がす熟練者の技が必要だそうです。出荷までに21工程もあり、どの作業も手を抜かない「ものづくり」をされていることがわかりました。

参加者からは、「雨と雪で梅林の見学ができず残念だった」「昔より工業化されたとはいえ、人の手間がたくさんかかっている、すごいなあと思った」「他の人に話していかねければいけないと思った」と感想が聞かれました。

この訪問で知ったことを一人でも多くの人に伝え、生産者と一緒に消費材の利用をすすめていきます。

みんなのリビング「くるり」実行委員会
ウインターコンサート

2月11日(日)
みんなのリビングくるり
(和泉市)

理事長 吉田 正美

**お家の
リビングのように
ゆったりと**



ントを開催してきました。2月は近くにお住まいの音楽一家に来てもらい、ウインターコンサートをおこないました。

当日は小さなお子さんから大人まで22名の方が集まりました。ディズニースングからちよつと懐かしい歌謡曲までレパー

泉州地域
**(株)ジャパンビューティ
プロダクツ**
生産者交流会

3月12日(火)
和泉シティプラザ
(和泉市いぶき野)

泉州地域委員 日紫喜 啓子



メイクアップで
新しい自分に出会う楽しさ

普段私たちが使っている化粧品と称されるものは、果たして安全で安心できるものなのでしょうか。基礎化粧品からメイクアップ用品まで幅広く開発製造をおこなっている(株)ジャパンビューティプロダクツの安藤さん、浜田さん、寺尾さんをお迎えして、生産者交流会を開催しました。メイクの実演に先立ち、ジャパンビューティプロダクツの化粧品の安心・安全・品質・情報開示に対するこだわりについて、またそれを実現するために乗り越えられてきた歴史について話していただきました。

その中で印象的だったことは、「開発に当たりタール系は使ってほしくない」、「石油系界面活性剤は嫌です」という組合員の声が消費材に実現されている、生産者と組合員が一緒に開発した化粧品ということでした。

メイクの実演では、ファンデーション、ほお紅、口紅の選び方から美しい眉の描き方まで順を追って教えてもらいました。モデルになってくださった方のメイクが進むにつれ、良いお顔になっていくのがわかり、見てい

る私もうれしくなりました。とてもいい時間がゆったり流れ、お化粧することで生まれる別の効用を見つけた気がしました。また、目からうるこのこともありました。オイルクレンジングは化粧を落とすだけではなく、顔についたほこりや汚れなどを落とすのにも効果的で、化粧をしていなくてもオイルクレンジングをするとういそうです。オイルに抵抗がある方は洗顔フォームとせっけんを両方使うとういとのことでした。参加者が5名と少なく残念でしたが、今後のスキンケアやメイクアップに役立つ情報満載の生産者交流会となりました。

トリリーが広く、皆さん楽しそうに聴き入っていました。アルプホルンが登場すると、子どもたちは興味津々で駆け寄り、演奏体験もさせてもらいました。途中でゴロンと床に転がって音楽を聞く子もいて、リビングにいるようにゆったりと過ごされていました。初めて「くるり」に来た方がほとんどだったので、「くるり」を知ってもらう良い機会となりました。

みんなのリビング「くるり」があるのは、以前、エスコープ大阪の放課後等デイサービス「グリーン・ピース」として使用していた建物です。広いフロア

があります。殺風景で、外から中が見えにくく何をしているかわからない状態でした。そこで、「生活クラブ共済連」の「福祉たすけあい活動助成制度」に申請し、掲示板やキッチンカウンター、ベンチなどを購入するための助成金を受けることになりました。

これからはもつとりリビングとしてくつろぐことができるようスペース作りをしていきたいと考えています。「おもしろそう!」と思った方、「一緒にくるり」の運営をしませんか。実行委員を募集しています。

生まれた町の絆を大切に。

職員さんが
自己紹介!!



森下 隆二(44歳)
エスコープ大阪在籍年数18年2ヵ月
〔共同購入フロア 泉北支所〕

私は生まれも育ちも岸和田市です。皆さんもご存じの通り、だんじり祭りを中心に回っているような街です(笑)。大学入学後は同級生とも疎遠になり、町内行事に参加することもなくなっていました。ところが2年前の春、子供会の役員をやっている同級生から「今年の祭り、手伝いに来てくれませんか?」と誘いがありました。正直、20年以上も話していない同級

生からの誘いに少し戸惑いましたが、ふたりの子どもが小学生になり、地域との関わりを始めた頃だったので思い切って、子供会の役員として町内会に戻ることにしました。

岸和田の町内会はなかなか忙しく、子供会だけでも町内対抗運動会、盆踊り、夏のお泊まりイベント、クリスマス会、そしてだんじり祭りイベントが目白押しです。プライベートが忙しくなりましたが、非常に充実しています。そういうえば、私がこの生協に就職するときの履歴書の志望動機の欄に「地元大阪で地域貢献をしたい」と書いたのを思い出しました。生協でもプライベートでも地域貢献していきたいです。

紹介します!!
うちの地域の
組合員さんです

毎日の生活に
欠かせません!

星川 千晶さん〔南河内地域〕



左側の1番手前が星川さん

エスコープ大阪に加入して、もうすぐ30年になります。お子さんが小さい頃は体作りをしなけいけいけいのに、偏食のご主人に合わせたら青魚も緑の野菜も食べられないので、子どもたちには食べてもらおうと毎日の献立に必死だったそうです。忙しくて、買い物に行く時間もなく、生協の共同購入で助けてもらったそうです。今は夫婦ふたりになり、「よやくる」で「バスチャライズド牛乳」、「純国産鶏種のため」、「旬菜セツト」や豆腐、豚肉などを登録し

11月から、羽曳野市の会場ですすめている居場所づくり「おしゃべりサロンたんび」を南河内地域の福祉パートナーとしてもうひとりのパートナーと共に、企画・進行をされています。多世代の方が気軽に集える場所をめざしたいと言われています。聞き手 山田恵子 (南河内地域理事)

て、申し込みを忘れないようにされています。調味料類も好きな消費材だそうです。購入量は減りましたが、エスコープ大阪の福祉活動や環境に関する活動を機



第10回
理事会報告 <3月6日>

【1月度決算報告】

- 供給高 2億2,960万円(前年同月比92.8%)
*配達日数1日少ない
- 組合員数 18,618名(前月比△69名)
- 一人当たりの出資金 92,207円

【2月の放射能検査結果】

2月は連合消費材607検体の放射能検査を実施しました。エスコープ大阪供給分で生活クラブ自主基準を超えた検体はなく、すべての消費材を供給しました。

【決議事項】

- ①全体区・地域区推薦者の決定
- ②新DC建設の進捗と開発業者の選定

【協議事項】

- ①第7次中期計画(案)の決定
- ②全体・地域活動計画と予算
- ③2024年度の理事会体制について
- ④みんなのリビング「くるり」の2024年度のすめ方
- ⑤2024年度消費材StepUp点検
- ⑥消費材意見要望の提出と取り組み方
- ⑦2024年度上和田草取り交流会の実施
- ⑧2024年度でんきの取り組みについて
- ⑨2024年度新加入者向けグリーンシステムの取り組み
- ⑩生活クラブにかほ院内風力発電「市民ファンド」募集と愛称募集のすめかた
- ⑪2024年度からの子育てサポーターとエコロ託児について
- ⑫2024年度以降のエコロコーディネートについて
- ⑬2024年度のエコロ制度取り組み
- ⑭2024年度上期の組合員拡大活動の進め方
- ⑮堺市街地地域準備会のすめ方

【報告承認事項】

- ①紀伊半島地域協議会への不参加について
- ②2023年度年末年始取り組み単協活動報告&意見要望書
- ③みんなのリビング「くるり」とくるり会議室の運用について

<お詫びと訂正>

254号2面に寄稿いただいた菊地良一さんのお名前を「菊池」と記載してしまいました。
訂正し、お詫び申し上げます。

編集後記

新年度が始まりました。ご家族の新入学や新入社等で新たな生活を送ってみえる方もいると思います。
機関紙「りっぷる」も、隔月になりますが、ワーカーズ・コレクティブの紹介を新連載していきます。エスコープ大阪関連のワーカーズ・コレクティブは、福祉や食事づくり、個人配達、編集、電話番、店舗など11団体あります。どんな人が働いているのか、どんな働き方をしているのか、順次紹介していきます。お楽しみに。(Y)

発行:生活協同組合エスコープ大阪 制作:W.Co パックプランニング

生活協同組合エスコープ大阪
〒590-0151 堺市南区小代727
TEL.072-293-4660 FAX.072-341-0022
https://s-osaka.seikatsuclub.coop/



次世代生産者紹介

いっしょに創る未来



漁協は漁業に従事する人たちの暮らしを守る仕事をしています。網や釣り針など漁に必要な物を販売したり、漁師用の保険や信用金庫も関連会社で経営しています。以前に比べると漁価も上がってきています。が、原価コスト(人件費、包材、流通など)も上がっています。なるべく高値

最近、水揚げ量が減っていると言われているのですが、本来獲れる時期でない時に獲れるということも起こっています。それは若狭湾周辺だけではないと思います。潮の流れが海水温が気候か、何が原因がよくわかりませんが、自然現象なので事前に対策をとることも難しいです。
生活クラブに供給している『煮干し』の原料の片口イワシは本来1、3月に獲れるのですが、今年はその時期にまったく収穫がなく、煮干しが作れませんでした。漁師だけで

私は、5年ほど前に生活クラブの担当になりましたが、まつりなどで直接会っていろいろと意見を聞ける機会があるのは貴重だと思いました。生活クラブの組合員の皆さんと生産者とのやり取りは親密です。他の生協とも交流の機会はありませんが、このような親密なやり取りはありません。この関係を大事にし、いただいた意見を活かしていきたいと思っています。

京都府舞鶴市
京都府漁業協同組合
販売部直売課 課長代理 倉野 義夫さん

私たちは、以前から生産者と組合員が直接顔を合わせて議論し、一緒に消費材を作り、運動をすすめてきましたが、生協設立から50年以上経ち、世代変わりしている生産者も増えてきました。そこで、このコーナーでは次世代の生産者や「近畿親生会」の生産者に登場していただき、抱負などを語っていただきます。

京都府は周りの県に比べて海と接しているところが少なく、「京都府漁業協同組合」(以下、京都府漁協)は比較的規模が小さい漁業組合です。京都府は定置網漁業を主としており、32の定置網を設置しているところがあります。

で魚を買い取ることができるよう、京都府漁協で売参権を取得し、仲買と同じようにセリで魚を買い取っています。漁師一人ひとりに対し、後継者問題も一緒に取り組み、きめ細かい支援をおこなっています。

また、近年見慣れない魚も獲れるようになりました。仲買が市場に売ろうとしますが、地元の人もなじみがないのでなかなか売れないようです。少しでも収入になればと加工品にすることも考えましたが、翌年はぜんぜん獲れなかったりするので、思うようにいきません。

海の中が変わってきた

おたよりネット

「りっぷる」の感想やご意見、その他投稿は下の「おたよりネット」欄で。配達時に提出、あるいは店舗の専用BOXまで。

253号4面「次世代生産者紹介 いっしょに創る未来」を読んで

S.Sさん

「株高橋徳治商店」の高橋敏容部長が未来について投稿されていました。水産関係の若い経営者の力を結集して情報交換し共有することで厳しい水産業界の現

状を打開したいと記されていました。若いエネルギーでローカルSDGsを展開され、そこから生まれた消費材を早く生活クラブに供給してほしいと思いました。

Ripple おたよりネット

(ペンネームOK)

●地域名

●組合員コード

●お名前

消費材の苦情についてはこの用紙でなく、電話またはメモで。この欄への投稿・ご意見は紙面でご紹介することがあります。

理事會事務局行き
255号(2024.4.22)